

1. 科目名(単位数)	日本語学Ⅴ(談話) (2単位)	3. 科目番号	
2. 授業担当教員	徐 煉		
4. 授業形態	講義と演習、グループワーク	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	ことばをコミュニケーションの手段とするには、表現上の工夫が必要である。具体的には、ことばの選択がなされ、集められコミュニケーションが作られる。コミュニケーション活動において、談話はことばがどのように機能しているのかが問題となる。本講座では、文や会話のまとめりである、文章や談話が、コミュニケーションにおいてどのように構成されているのか学ぶ。		
8. 学習目標	1. 談話とは何か理解し、説明できる。 2. 談話の中の接続表現や指示表現などの機能を理解する。 3. 談話分析について理解する。		
9. アサインメント(宿題)及びレポート課題	・各回の授業で配布するワークシートを次回の授業開始時までに完成させ、提出すること。 ・授業内で会話分析のグループワークを行う。会話の音声録音・文字化し、データを分析・発表する。調査分析結果はレポートにまとめて提出すること。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】橋内武『ディスコース：談話の織りなす世界』くろしお出版、1999。 【参考書】高梨克也『基礎から分かる会話コミュニケーションの分析法』ナカニシヤ出版、2016。 泉子・K・メイナード『談話分析の可能性-理論・方法・日本語の表現性』くろしお出版、1997。 泉子・K・メイナード『日本語教育の現場で使える談話表現ハンドブック』くろしお出版、2005。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 談話とは何か説明できるか。 2. 談話分析について理解することができたか。 ○評定の方法 [授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。 1 授業への出席・受講態度 総合点の30% 2 期末試験(談話分析レポート) 総合点の40% 3 課題(ワークシート)・発表 総合点の30% なお、本学規定により、3/4以上の出席が確認できない場合は単位修得を認めない。		
12. 受講生へのメッセージ	ことばは単なる情報伝達の道具ではなく、効果的にコミュニケーションを成立させるためには工夫が必要です。多様な談話を観察し、授業の参加者同士でその特徴を論理的に分析していきましょう。		
13. オフィスアワー	初回の授業で周知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション 「談話」とは 「談話」を扱う諸分野	事前学習	シラバスを読み、「談話」の定義について理解する。
		事後学習	配布を読み直し、談話の定義、談話を扱う分野の特徴をまとめ、ワークシートを完成させる。
第2回	談話の基本的な特徴 談話の単位、談話分析の基本	事前学習	配布を読み、談話分析について全体像について理解する。
		事後学習	配布を読み直し、談話分析の重要な観点について理解を深め、ワークシートを完成させる。
第3回	会話のしくみ 参加者、参加構造、場面	事前学習	配布を読み、参加者、参加構造、場面について理解する。
		事後学習	配布を読み直し、参加者、参加構造、場面について理解を深め、ワークシートを完成させる。
第4回	談話の構造 談話の全体構造、参加者の相互行為	事前学習	配布を読み、談話の全体構造、参加者の相互行為について理解する。
		事後学習	配布を読み直し、談話の全体構造、参加者の相互行為について理解を深め、ワークシートを完成させる。
第5回	話し言葉の特徴 結束性、一貫性、指示表現	事前学習	配布を読み、話し言葉の結束性、一貫性、指示表現について理解する。
		事後学習	配布を読み直し、話し言葉の結束性、一貫性、指示表現について理解を深め、ワークシートを完成させる。
第6回	話し言葉の文法 省略、終助詞、接続詞	事前学習	配布を読み、話し言葉の省略、終助詞、接続詞について理解する。
		事後学習	配布を読み直し、話し言葉の省略、終助詞、

			接続詞について理解を深め、ワークシートを完成させる。
第7回	会話1：日本語学習者の会話 日本語学習者が参加する会話の特徴 論文(抜粋)の内容を踏まえ、グループで議論する	事前学習	配布を読み、日本語学習者との会話を思い出し、その特徴を考える。
		事後学習	配布資料を読み直し、ワークシートを完成させる。
第8回	会話2：教室会話 教室で行われる会話の特徴 論文(抜粋)の内容を踏まえ、グループで議論する	事前学習	配布を読み、日本語を教える教室での会話を思い出し、その特徴を考える。
		事後学習	配布資料を読み直し、ワークシートを完成させる。
第9回	会話3：ビジネス会話 ビジネス場面で行われる会話の特徴 論文(抜粋)の内容を踏まえ、グループで議論する	事前学習	配布を読み、日本語によるビジネス会話の特徴を考える。
		事後学習	配布資料を読み直し、ワークシートを完成させる。
第10回	会話の分析 演習1「調査計画」 研究倫理について グループワークの概要説明 グループ決定 調査計画を立てる データの収集方法検討	事前学習	配布資料を読み、グループワークで調査する流れを理解する。
		事後学習	配布資料を読み直し、ワークシートを完成させる。グループワークの振り返りを書く。
第11回	会話の分析 演習2「文字化の規則」 文字化のルール 文字化の練習 調査準備	事前学習	文字化の原則を読む。
		事後学習	配布資料を読み直し、グループワークの振り返りを書く。
第12回	会話の分析 演習3「音声データの文字化」 音声データの文字化作業 グループで検討	事前学習	文字化の準備をする。
		事後学習	グループで検討したことの振り返りを書く。文字化作業を完成させる。
第13回	会話の分析 演習4「分析」 文字化データ 分析観点をグループで検討	事前学習	文字化データと分析観点に関する配布資料を読む。
		事後学習	配布資料を読み直し、グループワークの振り返りを書く。
第14回	会話の分析 演習5「発表準備」 発表 分析結果の検討 発表準備 グループで検討	事前学習	分析結果をグループで検討できるよう準備しておく。
		事後学習	グループワークの振り返りを書く。
第15回	会話の分析 演習6「発表」 発表 フィードバック レポートの作成について	事前学習	発表準備を完了させる。
		事後学習	発表のフィードバックを振り返り、レポートを作成する